

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

- 心豊かで思いやりのある生徒の育成（情操）
- 主体的に学び考え深い生徒の育成（創造）
- からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）

(2) 具体目標

目指す生徒像・・・思いやりのある生徒，主体的に学ぶ生徒，心身を鍛える生徒
目指す教師像・・・実践力のある教師，磨き合い高め合う教師，愛情豊かで寄り添う教師
目指す学校像・・・安心・安全な学校，学び合いともに伸びる学校，地域とともにある学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒のよりよい成長のためには，教職員がプラス思考で組織的に行動すること，及び教職員と保護者・地域住民とが連携を密にすることが重要である。そこで，地域と一体になった教育活動を展開しながら社会性や郷土愛を育むとともに，生徒及び教職員が，互いに学び合い高め合う集団を形成し，生徒が夢や希望に向かっていきいきと活動できる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人権尊重・生命尊重を基盤として，創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で，知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に努める。（力のある学校）
- (2) 心身ともに健康で安全な生活を送るために必要な資質・能力の育成及び基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。（豊かな心）（健やかな体）
- (3) 生涯学び続けることのできる人間性の形成を目指して，目標をもって主体的に学ぼうとする態度の育成に努める（確かな学力）
- (4) 教職員が互いに学び合う協働的な同僚性や専門的資質・能力の向上に励み，信頼され力のある学校づくりに努める。（質の高い教師）
- (5) ○地域学校園ビジョンの実現に向けて小学校・中学校が連携し，地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

[雀宮地域学校園教育ビジョン]

一人一人が自らの良さを自覚し，主体的に学ぶ児童生徒の育成
～いきいきとした活動を通してつながる～

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに学習指導要領の示すところに従い，本校教育目標の具現化を目指し，生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して適切な教育課程を編成する。

(2) 留意点

- ・教育課程に基づいた組織的・計画的な教育活動を通して，確かな学力，豊かな心，健やかな体の実現を図ることで，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成に努める。
- ・生徒の発達の段階を考慮して，「学習の基盤」となる言語能力，情報活用能力，問題発見・解決能力等の資質・能力や，「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」の主権者に関する教育，心身の健康保持増進に関する教育，防災を含む安全に関する教育等で求められる資質・能力を育成していくことができるよう教育課程の編成を図る。
- ・小中一貫教育の取組の下で，地域住民等と連携及び協力をしながら教育活動を行う。
- ・保護者や地域の声を，学校評価書等を通して把握し，教育課程の改善に生かす。

- (4) 学習指導要領の趣旨に則り、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、すべての学習の基盤となる読解力や問題発見・解決能力及び現代的な諸課題に対応していくための資質・能力の育成を目指す。
- (5) 地域に根ざした豊かな体験活動（地域交流活動、地域貢献活動、社会体験活動）を教育課程に位置付け、地区内小学校及び高校との連携を図った社会性育成のプログラムとする。
- (6) 生徒の体力向上及び心身の健康の保持増進に努め、心と体の健康に関する指導や食育をより充実する教育課程とする。
- (7) 特別支援教育の主旨に基づき、合理的配慮を踏まえて、個に応じた指導体制の整備に努め、学校内外の関係機関やそれらの支援機能を生かした運用を図る。
- (8) 地域学校園内の小中教員の交流を図るための連絡会議等を年間行事予定に位置付ける。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

いきいきと活動し、健やかでたくましい成長（ステップアップ）を支える教育活動の工夫～進め！雀！～

- (1) 学校運営** 生徒や教職員がいきいきとした学校づくり
- 学校諸課題の解決に向け、教職員が組織的・計画的で創造的に取り組むことのできる学校運営を推進する。
 - ・生徒の日々の学習や生涯にわたる学びの基盤となる資質・能力を身に付けることができるよう、教科等横断的な視点で学びの質の向上に努める。特に言語能力の育成については、1人1台端末の活用や「書くこと」の活動を図る授業力向上に向けた校内研修を充実させる。
 - ・現代的な諸課題に関する教育について、各教科、特別活動、総合的な学習の時間において、見方・考え方を働かせながら主権者教育、健康教育、安全教育に重点を置き、関連を適切に配置し、豊かな人生の実現や次代の社会を形成する役割を担う生徒に求められる資質・能力を教科等横断的に育成を図る教育活動を推進する。
 - ・教職員が心身ともに健康な状態で職務に取り組めることができるよう、健康安全管理と組織管理に配慮しながら業務改善・効率化を図ることができるよう努める。
 - ・一人一人を尊重し自己肯定感や有用感の育成を目指した教職員集団の構築と抱え込まない学級経営の支援
- (2) 学習指導**
- 様々な他者との交流による協働的な学びの推進と学びに向かう力を育むための指導の充実【地域学校園最重点目標】
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「宇都宮モデル」の実施と指導と評価の一体化を目指した指導計画・評価計画の再構築
 - ・学習習慣及び主体的に学習に取り組む態度の育成を目指し、振り返りの質の向上と学びのつながりを意識させる「ステップアップタイム」の実践
 - ・1人1台端末を効果的に活用し、言語能力（書くこと・話すこと）や情報活用能力（判断力・表現力）を身に付けさせる授業改善に向けた校内研修の充実「学力向上プロジェクト」
 - ・言語活動の充実を図る「書くことステップアップ」の実践の工夫
- (3) 生徒指導（生徒支援）**
- 学校生活に適応し、いきいきと活動する生徒の育成【地域学校園重点目標】
 - ・「雀中全員ボランティア」の思いやり精神と規範意識をもって、自らの行動を決断し実行していく自己指導能力を育む指導と支援
 - ・生徒自ら思いやりをもっていじめについて考え、向き合い、いじめ根絶に向けた取組の充実
 - ・生徒主体の『雀SA(SNS・安全)宣言』(健康安全・思いやり・プライバシー)の実践を通じたインターネットトラブルの未然防止
 - ・校内教育支援センター（ステップアップルーム）の効果的活用と全教職員体制による不登校支援の強化
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）**
- 生涯を通して、自ら健康な体を維持していくための基礎づくりの推進【地域学校園重点目標】
 - ・「雀中そーらん」や「うつのみや元気っ子チャレンジ」の実践を通して、自己の体力を高めようとする資質・能力の育成（体力向上）
 - ・「目の健康」を意識した生活習慣や規則正しい食習慣について理解し、自ら考えて行動できる資質・能力の育成（保健教育・食育）
 - ・安全教育（教科等・生活安全・交通安全・災害安全）を通して、自らの安全を守る行動ができる判断力や実践力の育成（安全）

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 生徒は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 粘り強く学習に取り組んでいる」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>○①主体的・対話的で深い学びを実現するために, ねらいの明確化と振り返り活動を言語で行うことを充実させる。また, 生徒がじっくり考え粘り強く学習に取り組む場面を計画的に設ける。 ○②生徒の情報収集・活用能力の育成を図るために, 各教科でグループ学習や生徒同士が対話を通じた情報交換の場を積極的に設ける。 ③ミニ研究授業10月までに行い, 教員同士で授業を公開し, 生徒の学ぶ意欲をより効果的に高める指導方法を互いに探求し実践する。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒91.7%, 教職員90.6%と, とともにすべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続し, 主体的・対話的で深い学びを実現するために, 教師は「宇都宮モデル」を軸とした授業を行う。 ・情報収集・活用能力の育成を図るために総合的な学習の時間などを中心に, グループ学習や生徒同士が話合う活動を計画的に設ける。 ・教科ごとに研究会を実施し, 指導力の向上を図る。</p>
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 生徒は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している」, (地)「生徒は, 地域住民に, 思いやりの心をもって接している」 ⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>○①学級担任は, 互いに認め合える学級の雰囲気をつくり, 思いやりの心を育てる。 ②道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。1年生(11月)2年生(10月)3年生(10月) ③思いやりのある行動をとった生徒等の事例を紹介, 称賛することで啓発していく。④地域連携教員を中心に地域ボランティア活動を紹介します, 参加を促す。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒93.5%, 教職員100%, 保護者94.8%, 地域住民100%で, すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに, 学校生活や地域社会で模範となる生徒の行動の事例について, 担当者が朝会や昼の放送等で紹介し, 他を思いやる行動を促していく。</p>
	<p>A 3 生徒は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 夢や目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる」 ⇒生徒・教職員・保護者の肯定的回答各80%以上</p>	<p>①学級活動を通して自己の生き方を考えさせるとともに, 目標に向かって日々努力することやあきらめずに粘り強く学習や運動に励み続けることの大切さを指導していく。 ○②自己実現可能な目標を見出させ, 達成感を味わわせる学校行事を通して, 目標に向かって粘り強く取り組む力を高めさせる。 ③「学習のあゆみ」を活用した定期テスト後の振り返りにより, 生徒の粘り強い取組を支援する。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒85.7%, 教職員96.9%, 保護者86.3%で, すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き, 学校行事の前に目標を立て, 実施後の振り返りを提示する活動を継続していく。 ・テストの計画表や振り返りを活用し, 粘り強く学習に取り組む大切さを指導する。</p>
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A 4 生徒は, 健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 健康や安全に気を付けて生活している」, (地)「生徒は, 学校行事や休み時間等において元気に活動したり安全に気を付けて生活したりしている」 ⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>○①各教科等の活動全般を通して, 健康や安全についての意識を高める。 ②目の健康を意識するための活動を, 年間を通して行い, 10月の目の愛護デーに合わせて, 目の体操などを行わせる。 ③生徒会生活安全委員による通学路の危険箇所や危険行為を紹介し, 登下校時のマナーアップを呼びかける。 ④交通安全教室(10月)や地震や不審者, 竜巻を想定した実践的な避</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒91.0%, 教職員100%, 保護者91.7%, 地域住民100%で, すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き, 健康・安全の両面からのアプローチを続けていく。 ・通学路の危険箇所について, 生活安全委員が, 確認し, 呼びかけをしていく。 ・避難訓練を継続し, さらに「竜巻・ミサイル」対応の訓練の実施を検討していく。</p>

		<p>難訓練（４月、１１月）を実施する。</p> <p>⑤通学路の危険や安全な歩行・自転車の利用等，交通安全への啓発をする。</p>	
<p>1-（４） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 生徒は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「私は，自分の良さや考えを生かしたり，周りと協力し合ったりして，進んで生活をよりよくしようとしている」，(教)「生徒は，互いの良さを生かしながら，進んで意見を発表したり，協力したりして，集団での課題を解決している」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>○①教育活動全般において，進んで意見を発表したり，集団での課題を解決したりする行いをした生徒を称賛することで，自己有用感を育む。</p> <p>②学級活動において係活動に責任をもって取り組ませ，振り返りで，自らの成長を確認させる。</p> <p>③学校行事を通して，生徒が互いの良さを認め合いながら，協力し合うことのできる学級づくりを行う。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は，生徒 88.6%，教職員 100%で，ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し，連帯感や協働する力の育成に努める。</p> <p>B</p>
<p>2-（１） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A 6 生徒は，英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は，英語の授業や ALT との交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>①英語で行うことを基本とした英語の授業を実践する。</p> <p>②インタビューテストなどで生徒が積極的に英語を用いて活動できる時間を増やしていく。</p> <p>③基本的事項を活用した自己表現活動や即興の英会話活動を計画する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は，教職員 93.8%で数値指標を上回ったが，生徒は 79.4%で下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・英語の授業は英語で行うことを基本として実践を継続する。また，授業にスモールトークを導入するなど，挨拶や短い会話を積極的に取り組ませコミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>B</p>
	<p>A 7 生徒は，宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は，宇都宮の良さを知っている」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>①各学年の「宇都宮学」の指導の充実を図り，宇都宮の良いところを捉え考えさせることで，郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて理解し，郷土への愛情と誇りをもたせる。</p> <p>②社会科においては，地域の古墳を教材として宇都宮の歴史への理解を深め，道徳においては，宇都宮への郷土愛に触れ，宇都宮への愛情と誇りをもたせる。</p> <p>③給食での地産地消の食材や郷土食，宮っ子ランチやトマト献立を教材として取り入れ，郷土への理解を深めさせ，宇都宮の良さを捉えさせる。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は，生徒 83.9%，教職員 93.8%，保護者 83.5%で，すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続し，宇都宮学の指導の充実を図る。 ・「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介，宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会について，生徒に情報を提供するなど，宇都宮の良さを理解できるように，指導の充実を図る。</p> <p>B</p>
<p>2-（２） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A 8 生徒は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は，デジタル機器や図書等を学習に活用している」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>①積極的に 1 人 1 台端末を活用して生徒に情報収集やレポート作成，確認テスト等を行わせる。</p> <p>②各教科等の調べ学習等で図書を積極的に活用できるように図書館司書と連携する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は，教職員 96.9%で，数値指標を上回ったが，生徒は 74.9%で下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続し，授業での 1 人 1 端末の積極的な活用を促進する。 ・教員は，各教科や家庭学習で，デジタル機器や図書等を活用する課題を出題するなどして活用を促す。</p> <p>B</p>

<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は、「持続可能な社会」について、関心をもっている」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>①生徒が古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底、移動教室時の消灯など、「持続可能な社会」の創り手になるために必要な行動ができるよう指導する。</p> <p>②各教科等の授業の中で行う、「持続可能な社会」に関する、話し合い活動を充実させ、関心をもたせる場面を計画的に設定する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 87.5%と数値指標を上回ったが、生徒は 72.0%と下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・複数の教科で「持続可能な社会」に関する学習を継続して行う。 ・引き続き取組内容を充実させ継続するとともに、各教科の授業を通して「持続可能な社会」について考えさせるだけでなく、生徒会活動等で実現に向けて考えさせ、掲示物や集会等で啓発していく。</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>○①生徒一人一人の特性を授業中の状況・教育相談やアンケート及びWEBQJ等で把握し、個に応じた適切な支援方法・発達の課題を考え、職員間で共有し、連携して対応する。</p> <p>②特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援（指導）計画に基づき、集団での授業の工夫を行うとともに、1人1台端末を有効に活用する。</p> <p>③全校体制によるステップアップルーム時間割を教育相談係が作成し、他者との関わり方を学ぶ活動や授業配信等の端末を活用した支援を、通級生徒の状況に応じて、教育相談係と担任や担当者が連携して行う。</p> <p>④保護者、スクールカウンセラー、校内教育支援センター支援業務、特別支援コーディネーターの他、必要場合はスクールソーシャルワーカー、外部関係機関等と連絡を取り連携して支援する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 100%で数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・個々の特性に応じたきめ細やかで適切な支援を継続しながら、引き続き、保護者や外部連携機関等とも連携して、全校体制での合理的配慮を推進する。</p>
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（生）「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」、「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」、（地）「学校はいじめの未然防止・早期発見に向けた取組を発信したり、地域に見守りを依頼したりするなど、地域と連携している」 ⇒生徒・保護者・地域の肯定的回答各 80%以上、教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>○①学級担任は、いじめは絶対に許さない毅然とした姿勢で学級経営を行う。</p> <p>②いじめゼロ集会（5月、10月）では生徒主体の活動により、いじめ等の未然防止を図る。また、いじめ撲滅の具体的な行動目標を設定させ、振り返りを行わせる。</p> <p>③いじめアンケートの年4回の実施により、未然防止と早期発見・早期対応をする。</p> <p>④SNSなどの使い方の注意点や、危険性について、生徒・保護者へ生徒指導だより等で啓発する。</p> <p>⑤スマホの危険性についての意識を高めるために、生徒対象の講演会や保護者に向けた動画配信を行い啓発する。</p> <p>⑥雀中SNS安全宣言に関することを確認する期間を学期末などに設け、生徒が自分の行動を確認できるようにする。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 94.8%、保護者 85.4%、地域住民 92.3%で、数値指標を上回った。また、教職員は 100%で数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・来年度も継続して、いじめの早期発見に努める。 ・特に SNS 関係によるいじめ防止を重点的に拡充して指導していく。 ・いじめゼロ集会は（いじめゼロ宣言・標語作成等）来年度も同じ形式で継続する。 ・生徒指導だよりを発行し、SNS の安全な使用の仕方を保護者にも啓発する。 ・スマホケータイ出前講座を実施、生徒と同時に保護者にも啓発していく。 ・「雀中 SNS 安全宣言」について定期的（学期末、長期休み前など）に指導、生活安全委員会から呼びかけるようにする。</p>

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方は、一人一人を大切にし、生徒が共に認め励まし合うクラスをつくってくれている」、「教職員は、不登校を生まないよう一人一人の生徒を大切に、生徒がともに認め励まし合う学級経営(学級づくり)を行っている」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答各85%以上、教職員の肯定的回答100%</p>	<p>○①学級担任は、温かい雰囲気や学級経営及び互いに認め合い助け合う集団をつくる。</p> <p>②欠席時の電話連絡や家庭訪問を積極的にいながら、情報を早期に共有し、担任のみならず複数の教員・チームで支援する。</p> <p>③スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。</p> <p>④教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒93.9%、保護者94.0%で、ともに数値指標を上回った。また、教職員100%で数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、家庭と情報共有しながら、不登校等の予兆が予測できる生徒への迅速な対応の強化に努める。</p>
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている」、(教)(保)「教職員は、生徒の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、生徒が明るいきいきと学校生活を送れるようにしている」、(地)「学校行事等において、様々な立場の生徒が互いを尊重し合って活動を行っている」 ⇒全対象者の肯定的回答各90%以上</p>	<p>○①生徒一人一人が安心して活躍できたり、必要とされていると感じたりすることができる人間関係作りを図る。</p> <p>○②体育祭や文化祭では、各種実行委員を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れ、達成感や充実感を味わわせる。</p> <p>○③学校生活全般において、教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。</p> <p>④居心地の良いクラスとなるようにWEBQUを活用し、不登校の兆しの早期発見と不登校にならない適切な対応を早期に考え、全校体制で取り組む。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒93.0%、教職員100%、保護者91.9%、地域住民100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、生徒が達成感や充実感を味わえるように認め励ます教育を拡充して行う。 ・生徒が困ったときに相談に乗り、問題を解決しようとして、生徒が楽しく学校生活を送れるよう支援することを拡充して行う。 ・生徒の悩みに寄り添うことができるよう宮っ子ダイヤリー等を活用する。 ・生徒の相談事の解決を保護者と連携しながら進める。</p>
<p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」、「教職員は、分かりやすい授業や(教材を工夫するなど)一人一人へのきめ細かな指導をしている」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各90%以上、保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>○①宇都宮モデルを基に、「はっきり」「じっくり」「すっきり」を学習活動に適切に位置付け、「分かる・できる授業」改善を行う。</p> <p>②ミニ研究授業や教科部会において「宇都宮モデル」に取り組んだ授業改善を図り、授業力向上を図る。</p> <p>③要請訪問等を実施し、同じ教科だけでなく他教科の教師も参加することにより、授業改善を図り、授業力向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒94.4%、教職員100%、保護者84.7%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、教科部会で、身に付けさせる資質・能力の評価方法について、見直しや検討を行う。</p>
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>			<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒94.4%、教職員100%、保護者84.7%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、教科部会で、身に付けさせる資質・能力の評価方法について、見直しや検討を行う。</p>

<p>4-(2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①校長を中心とした「チーム学校」の考えのもと、ミドルリーダーを中心に、お互い協力し合いながら業務に取り組む同僚性のある組織風土を作る。</p> <p>②一人一人が「風通しの良い職場」を意識することで、情報の共有化を図るとともに協力しやすい雰囲気を作る。</p> <p>③行事等の計画において、指導と評価の一体化を図る計画立案とすることで、見通しをもって業務に取り組めるようにする。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 96.9%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・業務に取り組む同僚性のある組織風土作りを大切に、継続していく。 ・職員会議や各打合せ等を通して、情報の共有化を図り、お互いに協力しやすい雰囲気を作る。</p> <p>B</p>
<p>4-(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①リフレッシュデーを意識して計画的に業務を行うことにより、時間外在校等時間を削減する。</p> <p>②ミライム出退勤時刻による勤務時間を意識した働き方を行うことにより、時間外在校等時間を80時間以内になるようにする。</p> <p>○③管理職は教職員の出退勤時刻を把握し、時間外勤務の多い教職員に対して、個別に面談し、勤務時間の適正化を指導・助言していく。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 93.8%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続しながら、生成AIを活用するなどして業務の効率化を図る。 ・行事や会議、研修の精選、効率化を図るとともに、一人一人が効率的に業務を行うことで、勤務時間を意識した働き方を行い、時間外在校時間を削減する。</p> <p>B</p>
<p>5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、児童生徒や教職員の交流、小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」、(地)「学校は、小学生と中学生の交流の場を作ったり、掲示物で互いの学校の情報を伝え合ったりする「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 ⇒全対象者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>○①小中一貫教育・地域学校園の取組について全教職員の共通理解のもと、児童生徒や教職員の交流活動を実施する。</p> <p>○②小中一貫・地域学校園としての取組のねらいや活動内容等を、生徒のみならず、学校だより・学校HPを通して、保護者・地域住民にも広く周知する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 81.6%，教職員 96.9%，保護者 88.9%，地域住民 100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、小中一貫教育・地域学校園のビジョンの実現を目指す。</p> <p>B</p>
<p>5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>○①地域ボランティアやPTAと協力をして、地域の教育力を生かした活動を推進していく。</p> <p>②キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に、継続的に活用する。</p> <p>③雀宮地区の未来について生徒と地域住民が共に考える地域未来会議を開催し、活動の様子を発信する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 96.9%，保護者 94.2%，地域住民 100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域ボランティアの活用を継続するとともに、キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用する</p> <p>B</p>

<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各90%以上</p>	<p>①全教職員が校内の安全点検を行い、確実に報告し、迅速に修繕する。</p> <p>②「学校警備および防火防災計画」や「危機管理マニュアル」を基に、日頃の安全対策や避難訓練等を実施するとともに、実施した内容を随時見直す。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員96.9%、保護者93.1%、地域住民100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、安全点検日を学校歴に記載することで確実に安全点検を実施する。 ・年に2回の避難訓練を通し、「防火防災計画」や「危機管理マニュアル」が機能しているかを確認する。</p>
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、授業（授業準備を含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している。」⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>①学校ホームページやさくら連絡網を活用して保護者や地域に積極的に情報を発信する。</p> <p>②各学年や教科等でデジタル活用の事例を共有することにより、授業や業務にデジタル機器を積極的に活用する。</p> <p>③生徒会活動等の資料等は1人1台端末を積極的に活用した企画・運営を進める。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員90.6%で数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、本年度の授業力向上研修の成果を活かし、デジタル機器の活用を推進する。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>①生徒のみならず教師も日常のあいさつや授業の開始と終了のあいさつを習慣化する。</p> <p>②あいさつ運動や地域学校園内小学校と連携した朝のあいさつ運動（6月、11月）の実施など、生徒主体の活動を実施する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒96.0%、教職員93.8%、保護者86.6%、地域住民100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、教職員以外の人にもあいさつできるように次年度は生徒会主催であいさつキャンペーンなどの実施を検討していく。 ・地域学校園のあいさつ運動を来年度も継続し、学校園ぐるみで、元気なあいさつの向上を目指す。</p>
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は、きまりやマナーを守って生活をしている」、(地)「生徒は、登下校での交通ルールなど、決まりやマナーを守って生活をしている」⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>①生徒会や生活安全委員会の生徒を中心として、決まりについて話し合いをさせる。</p> <p>②規律ある学校生活を送ることができるように「生活に関するきまり」を1人1台端末やHPでいつでも確認できるようにする。</p> <p>③きまりやルールを意識して生活させる期間を行事の前等に設け、自分の行動について振り返らせる。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒94.8%、教職員100%、保護者93.4%、地域住民100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、生徒が主体となって「生活に関するきまり」を見直していく。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B3 生徒は、自分の良いところを理解している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私には、良いところや頑張っていることがある」⇒生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①各教科等において生徒が自分の意見を表現できた場面を教師間でも共有し、複数人で称賛することで、自己理解につなげさせる。</p> <p>②学級担任や教科担任は、ワークシートやダイアリーに、生徒の良さを言葉で添える。</p> <p>③生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる場を設定して自己肯定感を育む。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒85.9%で数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、学級活動や学年行事、学校行事などにおいて、教員から生徒に対して、成功体験を日頃から具体的に言葉で伝えることで、自己肯定感を高めることができるよう努める。</p>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B4 生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学級担任は、家庭学習の必要性や意義を示し、生徒に習慣化させるとともに、学習の質を高めさせる。</p> <p>②生徒の家庭学習の提出状況を確認し、提出率を示したり、声かけを行ったりする。</p> <p>③授業の復習を中心にした学習を行うよう促し、学習内容を工夫させる。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 91.3%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、家庭学習の目的を見直し、学力向上につながる、成果の見えるものにする。</p>
	<p>B5 教職員は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方は、生徒の良いところや頑張ったことをほめてくれる」、(教)「教職員は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている」 ⇒生徒・教職員肯定的回答各 85%以上</p>	<p>①学校生活全般において、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒の自己肯定感を高めるようにする。</p> <p>②各授業や行事等で、目標の設定と活動の振り返りを適切に行うことにより、生徒が自分の良いところや頑張りを意識しながら活動することができるよう指導・助言する。</p> <p>③学年だより、HP等で、「認め励ます教育」に係る学校の取組を発信する。例えば、小さな親切運動や生徒の善い行いなど、認め励ます場面を設ける。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 93.5%、教職員 100%で、ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、学校生活で一人一人の良さを認め励まし、称賛することで、生徒の自己肯定感を育み、生徒理解を深めることができるよう、教職員間で情報交換を積極的に行う。</p>
	<p>B6 生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%</p>	<p>○①各学校行事等で目標を立てさせそれを達成できるように支援し、振り返りを行うことによって達成感を味わうことができるように指導する。</p> <p>②学級会や実行委員会などを活用し、生徒主体の取組を充実させ、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心を醸成する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 95.5%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続し、体育祭(そーらん)や文化祭(合唱コンクール)などで、生徒主体の取組を実践し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の育成に努める。</p>
	<p>B7 (学校園共通) 生徒は、食事の時のマナーをしっかりと守っている。(あいさつ、はしやお茶わんの持ち方、ひじをつかないなどの良い姿勢など)</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、食事のマナーをしっかりと守っている。(あいさつ、はしやお茶わんの持ち方、ひじをつかないなどの良い姿勢、など)」 ⇒生徒の肯定的回答 90%</p>	<p>○①食事中の会話に配慮し、一緒に食べる人への気遣いをさせる。</p> <p>○②給食を作ってくれる人たちへの感謝の気持ちを育む。</p> <p>○③食育強化月間に、1人1台端末を活用して食事マナーについての啓発を行う。(6月、10月)</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 97.5%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、生徒が食事の時のマナーをしっかりと守れるよう、指導に努める。</p>

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○ 数値指標を達成した項目数

生徒：18/21 教職員：23/23 保護者：13/13 地域住民：9/9 全体：63/66 95.4%が達成した

○ 前年度を上回った（同数）項目数

生徒：6/22 教職員：17/27 保護者：17/19 地域住民：9/10 全体：49/78 62.8%が上回っている

○ 市の平均を上回った（同数）項目数

生徒：9/17 教職員：21/22 保護者：14/15 地域住民：8/9 全体：53/63 84.1%が上回っている

【学校運営】

成果：A16（働き方改革の推進）については、職員全員が協力して業務改善に取り組んだことで、勤務時間の適正化が進んだ。また、A17（学校運営・教育活動の充実）において、学校だよりや学校HPを通して小中一貫教育の活動について積極的に発信したことで、保護者、地域住民の学校の教育活動への理解を高めることができた。

課題：A18（地域と連携・協働した学校づくり）については、ミシンボランティア等での地域ボランティアの活用を積極的に進めた結果、目標指数を達成することができた。今後は、地域ボランティアの活用をさらに推進するとともに、街の先生の活用や、企業と連携した授業作りなどを検討していく。

【学習・キャリア教育】

成果：A1（確かな学力）、A3（豊かな心）、A14（教職員の資質・能力の向上）については、生徒・教職員ともに指標を達成した。「宇都宮モデル」と「ステップアップタイム」を軸にした授業改善が促進されたことで、各教科や行事などの振り返り活動が充実し、主体的に取り組む態度や目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組む態度が涵養された。

課題：A8（情報社会と科学技術の進展）については、生徒の肯定的回答が昨年度より下回った。各教科部会で、授業でICT機器を効果的に活用するスキルを共有する機会を増やしたり計画的に図書やICT機器を活用した授業改善に努めたりするなどの工夫を考えていく。

【特活・道徳・総合・地域】

成果：A2（思いやり）、A3（豊かな心）については、学校行事・学級活動等を通じて、目標を立てて実行し振り返りをしながら取り組むことで、粘り強く物事に取り組んだりお互いの良いところを認め合ったりする生徒の姿が見られた。

課題：A9（持続可能な社会の実現）については、生徒の肯定的回答が市の平均を4.7P下回った。様々な授業を通して持続可能な社会について触れるとともに、各教科の授業や学校生活の中でもこのことに触れて、考えの啓発と行動を促すようにしていく。

【生徒指導・安全指導】

成果：A11（いじめ）については、学級担任がいじめは絶対に許さない毅然とした姿勢で学級経営を行っていることが成果として表れた。

課題：B1（あいさつ）については、引き続き地域の大人に対しても、時と場に応じたあいさつができるように、教育活動全般において指導を続けていく。また、A11（いじめ）についても、SNSトラブルによるいじめのリスクが高まっていることから、SNSの活用について重点的な指導が必要である。

【人権・教育相談・特別支援】

成果：A10（インクルーシブ教育）については、全教職員が特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援や対応ができています。また、A12（不登校対策）については、学級担任は、一人一人を大切に、生徒が互いに認め合い助け合う集団をつくることができています。

課題：A13（いきいきとした学校）については、全対象者の数値指標は達成しているが、困りごとを相談しやすい場面を設定して問題を解決したりすることで、生徒が楽しく学校生活を送ることができるよう、取組を充実させる必要性がある。

7 学校関係者評価

(1) 本年度の「肯定的回答達成状況」及び「成果と課題」について

- ◎多くの項目で目標を達成し保護者の肯定的回答が市の平均を上回っていることは、学校経営の成果である。
- ◎生徒一人一人に寄り添った教育をしていることで、子どもの安心感から親の安心感につながっている。
- ◎教職員の数値も高く、先生方の意識の高さ、日頃の継続的な指導、学校全体での良い体制を感じる。
- 心の教育が大切にされてきた成果として、A2・A3・A10・A11・A12などに表れている。
- A13（多様な教育的ニーズ）は教職員と保護者に開きが生じがちであるのだが、評価対象者のすべてが90%を上回っており、学校が頑張っている結果である。
- ▲今後の課題として、ボランティアの人数の確保、連絡手段の検討、街の先生の活用、企業との連携などが挙げられる。

(2) 今後、拡充または力を入れてほしい内容について

- ・引き続き、心の教育の推進と生徒に寄り添った対応をお願いしたい。一方で、ダメなものはダメという指導も徹底していく必要もある。
- ・いじめの報道が多数見受けられる。いつ発生するか分からないことなので、注意深く見てもらいたい。
- ・不登校は、教職員の肯定的回答が100%になっているが、なぜ不登校が減らないのか。方法を考える必要がある。
- ・不登校をゼロにすることは難しいと思うが、「温かい雰囲気」の学級経営及び互いに認め合い助け合う集団作りを推進し、一人ひとりに寄り添う支援を行っていくことは、長期的展望でのサポートにつながるのではないか。
- ・SNS等の影響が心配なので、ぜひ強化することが良い。ネット上に載ったら、本人だけでなく、家族にも影響することをしっかりと教えるべきである。
- ・生徒がいきいきと活動できる学校づくりを進めるため、生徒の状態を評価するより、ねらったことを育てる機会があることやそれらに関する支援があるかなど、取組評価の形の方へ進むと評価しやすい。
- ・地域の協力を最大限に生かして進めるべきだと思う。

(3) その他

- ・地域関連行事への生徒の積極的なボランティア活動により、地域とのコミュニケーションがとれ、子どもの様子がわかるなど、良い方向に進んでいる。
- ・小中あいさつ運動では、小学校と中学校の連携が良くできている。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【まとめ】

- ・今年度の学校づくりの方向性として生徒・教職員・保護者・地域に、「いきいきと活動し、健やかでたくましい成長（ステップアップ）を支える教育活動の工夫」を示すとともに、各項目の具体的な取組内容との整合性を確認しながら様々な教育活動を工夫し展開したことが良好な評価結果となった、と捉えている。
- ・特に、「ステップアップ」をキーワードに授業改善や行事などの振り返り活動を充実させたり、自己肯定感を育む取組に重点を置いたりしたことで、主体的に取り組む態度や粘り強く取り組む態度の涵養を図ることができた。また、学年や生徒指導係・教育相談係といった組織の連携・サポートにより、学級担任の創意工夫を生かした学級経営及び互いに認め合う集団ができたことも、教職員の質の向上につながったと考える。
- ・学校関係者評価においては、教育活動への理解が得られてはいるものの、いじめやSNSトラブル、不登校対策への関心が非常に高く、不登校の兆しを見逃さない未然防止による早期発見に期待が大きいと感じる。

【次年度へ向けて】

- ・次年度も取組を継続し、A11（いじめ対策）とA13（いきいきとした学校）を拡充させ、一人一人を大切にすると安全に安心して学べる学校づくりを推進し、生徒の悩みに寄り添い問題を解決することで、楽しく学校生活を送ることができるよう取組内容の再構築を図っていく。また、地域学校園教育ビジョン「一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成 ～いきいきとした活動を通してつながる～」の実現に向け、地域の教育力を生かした教育活動の充実も進めていく。

